

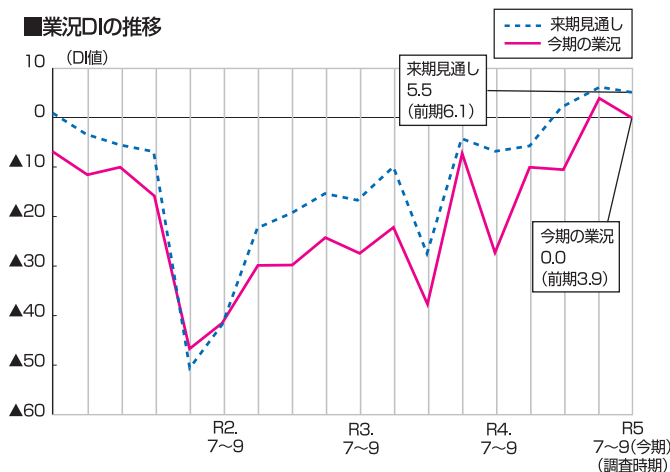
DI (Diffusion Index=景気動向指数) とは
各調査項目について、好転企業割合から、悪化企業
割合を差し引いた値を示し、景気の現状把握や将来
の見通し予測を行う。

DIがプラスなら……好転、上昇基調
DIがマイナスなら……悪化、下降基調

記号の見方

DI値	▲25P以下	▲25～ ▲10P未満	▲10～ 10P未満	10～ 25P未満	25P以上
景況	特に悪化 ↓	悪化 ↘	横ばい →	好転 ↗	特に好転 ↑

■業況DIの推移



■産業別DI値表

		前期 [R5.4~6] (A)	今期 [R5.7~9] (B)	増減 (B)-(A)	来期見通し [R5.10~12]	
業況	全産業平均	3.9	0.0	▲3.9	5.5	→
	製造業	0.0	▲21.2	▲21.2	▲6.9	→
	建設業	▲21.7	13.6	35.3	0.0	→
	卸売業	25.0	3.4	▲21.6	6.9	→
	小売業	▲3.3	▲3.4	▲0.1	3.3	→
	サービス業	12.8	10.5	▲2.3	19.4	↗
売上額	全産業平均	16.3	18.5	2.2	17.8	↗
	製造業	12.1	6.3	▲5.8	12.1	↗
	建設業	4.8	4.3	▲0.5	▲4.3	→
	卸売業	32.1	27.6	▲4.5	24.1	↗
	小売業	10.0	23.3	13.3	30.0	↗
	サービス業	19.5	27.0	7.5	21.6	↗
資金繰り	全産業平均	▲9.2	▲10.6	▲1.4	▲5.3	→
	製造業	▲9.4	▲18.8	▲9.4	▲9.4	→
	建設業	▲17.4	▲13.0	4.4	▲13.6	↘
	卸売業	▲7.4	▲6.9	0.5	▲17.2	↘
	小売業	▲13.3	▲23.3	▲10.0	▲3.3	→
	サービス業	▲2.5	5.4	7.9	10.8	↗
採算	全産業平均	▲3.3	▲4.6	▲1.3	▲2.6	→
	製造業	▲3.1	▲18.8	▲15.7	▲12.5	↘
	建設業	▲21.7	▲8.7	13.0	▲8.7	→
	卸売業	3.6	▲3.6	▲7.2	6.9	→
	小売業	▲10.0	▲3.3	6.7	▲3.3	→
	サービス業	7.7	7.9	0.2	2.6	→

鹿児島商工会議所

景況調査

調査期間 令和5年7~9月
回答企業数 155社

今期業況はマイナス幅がやや拡大。来期の見通しはほぼ横ばいで足踏み続く。

【今期(令和5年7~9月期)の業況】
全産業の業況DI値は、0・0
(前期比マイナス3・9ポイント)
と前期と比較してマイナス幅がやや
拡大。産業別では製造業、卸売業が
大きく落ち込む一方、建設業では前
期比プラス35・3ポイントと大幅に
改善した。

【来期(令和5年10~12月期)の見通し】
全産業の来期見通しは、5・5
(前期時の来期見通し6・1からマ
イナス0・6ポイント)とほぼ横ば
い。産業別においても軒並み横ばい
であるものの、サービス業が好転と
なっている。

【今期の売上額・資金繰り・採算】
全産業の売上額DI値は、18・5
(前期比プラス2・2ポイント)と
なり、特に小売業は前期からプラス
13・3ポイントの大幅改善となった。
全産業の資金繰りDI値は、▲
10・6(前期比マイナス1・4ポイ
ント)となり、建設業、卸売業、
サービス業で改善が見られた。

全産業の採算DI値は、▲4・6
(前期比マイナス1・3ポイント)
となり、建設業、小売業、サービス
業で改善が見られた。

【回答企業のコメント】
・原価管理と営業努力により、上半
期の売上、純利益、営業利益、いず
れも好転した(建設業)
・取引先の飲食店に客足が戻りつつ
あり、当社の販売数量も増加傾向
にある(卸売業)
・観光客が以前に比べて増えてきて
いるためか、売上がコロナ前に戻
りつつある(小売業)